

特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成17年7~9月)のポイント

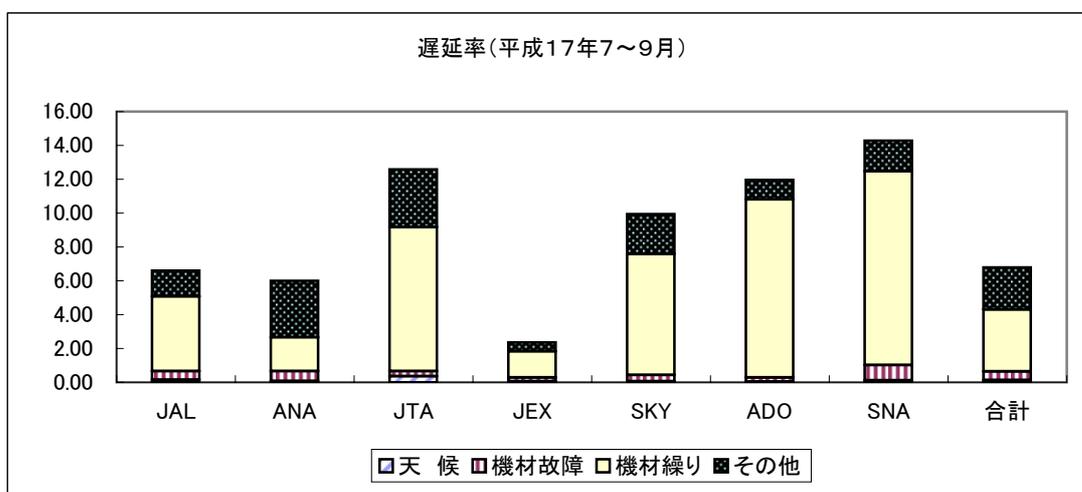
※日本航空(日本航空ジャパン、日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマークエアラインズ、北海道国際航空及びスカイネットアジア航空

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率(平成17年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
6.79%	5.71%	1.08ポイント増加

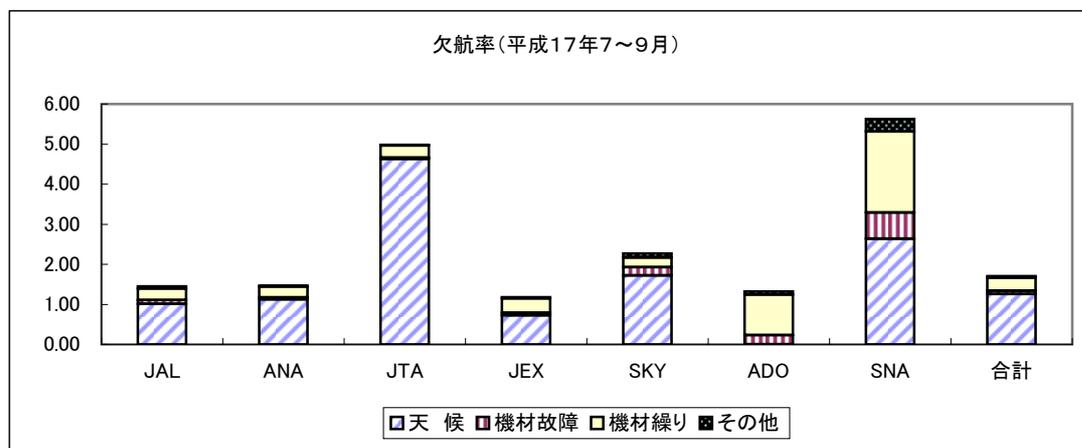
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

(2) 欠航率(平成17年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.71%	2.68%	0.97ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績(平成17年7月～9月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	903km	897km	0.6%増
輸送人員	2497万1384人	2450万8720人	1.8%増
輸送人キロ	225億5465万人キロ	219億8611万人キロ	2.5%増
旅客収入	3953億96百万円	3857億39百万円	2.5%増
輸送人員あたり 旅客収入	15.8千円	15.7千円	0.6%増
輸送人キロあたり 旅客収入	17.5円	17.5円	増減なし

(2) 路線別データ(平成17年7月～9月)

① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	260万9532人
2位 東京＝福岡	202万2620人
3位 東京＝大阪	156万6544人
4位 東京＝那覇	141万8155人
5位 東京＝鹿児島	60万8780人
全路線	2493万8887人

② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 中部＝旭川	90.0%	1位 宮古＝石垣	30.9%
2位 大阪＝石垣	89.1%	2位 札幌＝庄内	34.0%
3位 那覇＝岡山	87.4%	3位 札幌＝三沢	39.8%
4位 中部＝女満別	86.7%	4位 札幌＝中標津	40.5%
5位 東京＝石垣	85.2%	5位 福島＝福岡	42.9%
全路線	66.8%	全路線	66.8%

3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成17年7～9月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	0.57人	0.64人
②	日本トランスオーシャン航空	0.11人	0.01人
③	北海道国際航空	0.03人	0.00人
	全社平均	0.29人	0.33人